

第 1 1 回 四 国 テ コ ン ド ー 選 手 権 大 会 要 項

【 1 】 名 称

第 1 1 回 四 国 テ コ ン ド ー 選 手 権 大 会

— 第 2 9 回 全 日 本 フ ル コ ン タ ク ト ・ テ コ ン ド ー 選 手 権 大 会 出 場 選 手 選 考 会 —

開 催 日 2 0 1 8 年 1 1 月 2 4 日 土 曜 日 午 後 5 時 1 5 分 開 始

会 場 後 楽 園 ホ ー ル (東 京 ド ー ム シ テ ィ ー 内)

【 2 】 主 催

高 知 県 テ コ ン ド ー 連 盟

【 3 】 主 管

日 本 テ コ ン ド ー 協 会 (J T A)

【 4 】 目 的

- 1) ルールを尊ぶ J T A テ コ ン ド ー の 試 合 を 通 じ 四 国 の 人 々 の 健 全 な 精 神 涵 養 及 び 体 力 増 進 に 貢 献 す る 。
- 2) J T A テ コ ン ド ー 愛 好 家 の 親 睦 を 目 的 と す る 。
- 3) 信 義 と 礼 儀 を 重 ん じ る 日 本 テ コ ン ド ー を 通 じ た 社 会 教 育 の 意 義 を 高 め る 。
- 4) 第 2 9 回 全 日 本 フ ル コ ン タ ク ト ・ テ コ ン ド ー 選 手 権 大 会 出 場 選 手 選 考
 - ① 一 部 組 手 各 階 級 優 勝 者 で 蹴 美 に 秀 で て い る 選 手 に は 全 日 本 大 会 出 場 権 を 与 え る 。
た だ し 、 各 種 空 手 や キ ッ ク ボ ク シ ン グ の よ う な 組 手 ス タ イ ル の 選 手 が 優 勝 し た 場 合 、
審 議 の 末 、 上 記 の 全 日 本 大 会 出 場 権 を 与 え ない 。
 - ② 一 部 蹴 武 の 型 優 勝 者 及 び 準 優 勝 に は 全 日 本 大 会 出 場 権 を 与 え る 。 3 位 は 選 抜 出 場 推 薦 候 補 と す る 。
 - ③ 本 大 会 は 、 少 年 少 女 部 全 日 本 大 会 出 場 選 手 選 考 会 も か ね る 。
 - 選 抜 選 手 は 、 高 校 生 (一 般 部 の 成 績) 、 中 学 生 、 小 学 生 の 各 入 賞 者 中 、 有 段 者 (含 む 昇 段 見 込 み)
を 選 抜 す る 。
 - ④ 上 記 の 全 日 本 フ ル コ ン タ ク ト テ コ ン ド ー 選 手 権 大 会 出 場 者 は 、
有 段 者 ま た は 1 0 月 末 迄 に 昇 段 審 査 を 受 験 し 合 格 し て い る 者 に 限 る 。

【 5 】 開 催 日 時

2 0 1 7 (平 成 2 9) 年 1 2 月 1 7 日 (日)

選 手 集 合 ・ 計 量 1 2 : 3 0

【 6 】 開 催 場 所

安 芸 武 道 館

高 知 県 安 芸 市 西 浜 9 5 - 1 土 佐 く ろ し お 鉄 道 「 安 芸 駅 」 下 車 徒 歩 7 分
高 速 「 南 国 」 下 車 、 無 料 高 速 道 路 等 で 4 5 分 程 度 。 無 料 駐 車 場 完 備

【 7 】 参 加 資 格

- 1) J T A 有 級 者 (黄 帯 ・ 7 級 以 上) 、 有 段 者 。
- 2) 健 康 で あり 、 か つ ス ポ ー ツ 安 全 保 険 に 加 入 し て い る 者 。
- 3) 一 部 組 手 は 4 0 歳 以 下 の 1 級 ・ 茶 帯 ~ 有 段 者 。
- 4) 一 部 蹴 武 型 は 有 段 者 に 限 る 。 な お 、 少 年 少 女 部 の 有 段 者 は 参 加 で き る 。
- 注 意 一 部 参 加 者 は 、 J T A 黒 帯 道 衣 を 着 用 し な け れ ば な ら ない 。 貸 与 等 は 不 可 。
- 後 日 発 覚 し た 場 合 、 当 該 選 手 の 成 績 は 無 効 と し 、 表 彰 状 ・ メ ダ ル 等 を 返 却 さ せ る 。
- 5) 二 部 組 手 は 、 イ) J T A の 1 級 ・ 茶 帯 ~ 有 段 者
ロ) 過 去 、 1 年 以 内 の J T A 公 式 戦 で 入 賞 経 験 を 有 す る 5 級 ・ 緑 帯 以 上 の 有 級 者 。
- 6) 二 部 蹴 武 型 は 、 茶 帯 ~ 有 段 者 。 な お 、 少 年 少 女 部 の 有 段 者 は 参 加 で き る 。
- 7) 三 部 組 手 は 、 黄 帯 ~ 茶 帯 。
- 8) 三 部 蹴 武 型 は 、 黄 帯 ~ 茶 帯 。
- 9) 少 年 少 女 部 の 全 試 合 は 、 黄 帯 ~ 黒 帯 。 制 限 な し 。

【 8 】 試 合 種 目 ・ 表 彰

組手および蹴武型試合は、いずれの階級もエントリー選手が

① 6名以下の場合、最も近い級と統合する場合がある。

② 一般の種目で7名以下の場合、3位は記録としては残すが表彰しない場合がある。

I、組手

最優秀選手1名、トロフィー授与（該当者無しもありえる）

一部組手及び一部蹴武型の二種目で優勝（もしくは入賞）することが望ましい。

一、一部フルコンタクト・テコンドー組手試合

最優秀選手1名、トロフィー授与

一部組手及び一部蹴武型の二種目で優勝（もしくは入賞）することが望ましい。

1、軽中量級（73kg未満）組手

優 勝：メダルと賞状、蹴美に秀でている場合に限り第29回全日本FT大会出場権を与える
準優勝～三 位：メダルと賞状

2、重量級（73～90kg以下）組手 表彰 同上

3、女子無差別級組手 同上

二、二部JTAライトコンタクトテコンドー組手

1、軽中量級（73kg未満）組手

優 勝、準優勝、三 位：メダルと賞状

2、重量級（73～90kg以下）組手 表彰 同上

3、女子無差別級組手 同上

三、三部JTAライトコンタクトテコンドー組手

1) 軽量級（63kg未満） ～ 優勝、準優勝、3位：メダルと賞状

2) 中量級（73kg未満級）～ 同上

3) 重量級（73kg以上90kg以下） ～ 同上

4) 女子無差別級 ～ 同上

四、四部JTA少年少女部ルール組手

JTA少年少女部組手特別ルールによる（本部HP参照）。

万一の事故を防止するため回し蹴り（後回し蹴りや飛び回し蹴り蹴りも含む）は禁止します。

①少年部丙（小学校1～2年生）～ 優勝、準優勝、3位（1名）：メダルと賞状

②少女部丙（小学校1～2年生）～ 優勝、準優勝、3位（1名）：メダルと賞状

③少年部乙（小学校3～4年生）～ 優勝、準優勝、3位（1名）：メダルと賞状

- ④少女部乙（小学校3～4年生）～ 優勝、準優勝、3位（1名）：メダルと賞状
- ⑤少年部甲（小学校5～6年生）～ 優勝、準優勝、3位（1名）：メダルと賞状
- ⑥少女部甲（小学校5～6年生）～ 優勝、準優勝、3位（1名）：メダルと賞状
- ⑦中学生男子軽量級（45kg未満）～ 同上
- ⑧中学生男子中量級（45kg以上）～ 同上
- ⑨少女部無差別級（含む中学生女子）～ 同上

注意1 少年少女部は、事故防止のため、ヘッドギア、スネサポーター、JTA公認胴防具、ファールカップ（男子のみ）を着用しなければならない。

注意2 エントリー人数に応じて統合する場合があります、保護者は主催者に一任することを予め同意して下さい

少年部・少女部組手の1回戦は、最もエントリー選手中、最も体重差が少ない選手と対戦予定。ルールは一本勝ちを禁止しているライトコンタクト・テコンドー・ルールであり、選手双方がルールを守っていれば事故が起こることはありません。

体重差と身長を考慮し、統合が合理的と認められる場合は主催者の判断により統合します。たとえば（過去の事例）、少女部丙にエントリーした小2女子（体重23kg）が1名、少女部乙にエントリーした小3女子（体重25kg）が1名の場合、「小学生低学年女子」として統合しワンマッチを行います。

注意3 男・女中学生は一般の部に参加できる。ただし、自己責任とします。保護者許可必要。

II、蹴武型試合（全種目男女混合）

一、一部A級蹴武の型試合（全日本FT大会A級予選）

優勝：メダルと賞状、	第29回全日本FT大会A級蹴武型出場権を与える
準優勝：メダルと賞状	同候補とする
三位：メダルと賞状	同上

二、一部B級蹴武の型試合（全日本FT大会B級予選）

優勝：メダルと賞状、	第29回全日本FT大会B級蹴武型出場権を与える
準優勝：メダルと賞状	同候補とする
三位：メダルと賞状	

三、一部少年少女部蹴武の型試合（有段者。全日本FT大会少年少女部蹴武の型予選）

優勝：メダルと賞状、	第29回全日本FT大会少年少女部蹴武型出場権を与える
準優勝：メダルと賞状	同候補とする
三位：メダルと賞状	

四、二部蹴武の型試合（入賞経験を有する小学生・中学生は参加できる）

優勝～三位：メダルと賞状

五、三部蹴武の型少年少女部（有級者・有段者。統合する場合もある）

1) 小学生低学年（3年生以下。未就学者可）～ 同上

2) 小学生高学年 (4年生～6年生) ～ 同上

3) 中学生 ～ 同上

【9】試合ルール等

注意1 計量は1回のみとする。パスしない場合は失格とし参加費は返金しない。
自己流の減量は極めて危険である。無理な減量は禁止。死亡事故がおこる。

注意2 すべての種目は、一定数のエントリーに達しない場合、統合する。
参加者 (未成年者の場合は保護者) は上記を予め同意しなければ試合にエントリーすることはできない。

一、組手試合ルール

日本テコンドー協会試合ルールによる

注意 選手は本部ホームページを必ず一読

1) 一部 JTAフルコンタクトテコンドー・ルール (蹴美7WILLルール)

2) 二部、三部 JTAライトコンタクトテコンドー・ルール

3) JTAライトコンタクトテコンドー・ルールに基づく少年少女部特別ルール

2、試合時間、判定基準等

1) 試合時間

① 一部・二部・三部 本戦2分 1R

延長戦2分 (1R迄)。再延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

② 中学生 本戦1分30秒 1R。

延長戦1分 (1R迄)。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

③ 少年少女部 本戦1分 1R。

延長戦1分 (1R迄)。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

2) 敵点2、又は注意6で「失格」とする。

3) 実力差が著しい場合又は戦意喪失が認められる場合、主審権限により「棄権」を宣告する。

4) すべての試合は、判定の際、蹴美力の優劣を重視する。

5) 試合中、コンタクト・レンズがはずれても中断しない。万一、中断した場合、減点1とする。

二、蹴武の型・試合ルール

日本テコンドー協会試合ルールによる

注意 選手は本部ホームページを必ず一読

① 一部A級 JTA A級蹴武型ルール

② 一部B級および一部少年少女部 JTA B級蹴武型ルール

③その他

J T A C級蹴武型ルール

C級ルール試合において、選手は蹴武の型を自由に選択し、試合を行う。
ただし、連続して同じ型を演武することはできない。二つ以上の型を準備すること。
選手は級位・段位、年齢を問わず本戦において同じ型を連続して演武することはできない。
たとえば、1回戦で清衡を演武し勝利した場合、2回戦は清衡以外の型を演武しなければならない。
延長戦の場合も、本戦とは別の蹴武の型を演武しなければならない。
黄帯・7級の選手は、必ず南洲と青淵を修得していなければ試合に参加することはできない。
延長戦も本戦同様、選手が本戦と同じ蹴武の型を演武することはできない。
たとえば、本戦で龍馬を演武し引き分けた場合、延長戦は龍馬以外の型を演武しなければならない。
なお、たとえば、本戦1回戦で謙信を演武し引き分け、延長戦を義家で勝利した場合、
2回戦本戦では謙信を演武することができる。

- ④トーナメント勝ち残り方式とする。3名の場合は総当戦。
- ⑤男女混合とする。
- ⑥3名の審判が、旗（青もしくは赤）を上げて勝者を決定する。旗が多く上がった方を勝者とする。
- ⑦各審判は、引き分けを宣告できる。その場合、延長戦（1回のみ）を行う。
延長戦の場合、審判はいずれかを勝者と認定しなければならない。

【10】大会出場申込

2017（平成29）年12月8日迄（当日消印有効）、

参加費用 組手試合のみ ￥4000

蹴武の型試合のみ ￥4000

組手&蹴武の型試合 ￥6000

を下記郵便口座へ振込み、
振込みを証明する控え（コピー可）を参加申込書に添付し、下記まで郵送して下さい。
なお、個々人で申請した場合、1回戦から「同クラブ対決」となる場合があります。

1、参加費振込先

〔口座番号〕 00160-6-185058

〔名義〕 日本テコンドー協会

振り込み手数料節約のため

- * 昇級審査・昇段審査受験者は、大会参加費と審査費を合計して振り込んでも構いません。
同様に家族会員も合計して振り込んでも構いません。振り込み手数料の節約を奨励します。
- ** 振込み手数料は、大会参加者（審査受験者）負担ですが、
ゆうちょ銀行の各自の口座からATMを利用して振込めば振込み手数料は無料となります。

2、申込書送付先

〒780-8040

高知県高知市神田850-7-102

高知県テコンドー連盟 古谷知也殿

【11】 大会役員

大会会長 河 明生 実行委員長 古谷知也（蹴美審判兼任）

審判部長 朝比奈浩一（主審） 審判 河野昌俊、山脇浩司 賞状 笹岡 他

【12】 注意事項

- ① 試合参加のためには、所属クラブ長の許可（申請書にサイン）が必要です。
- ② 電話やFAX、試合申込み期限を超えた試合の申込みは受け付けません。
- ③ 所属倶楽部・責任者に試合参加の意志表示を伝えた場合、棄権しても参加費用は納めて下さい。
- ④ 理由の如何を問わず一度納入された参加費は返却しません。
- ⑤ 試合当日の参加費支払いは一切受け付けません。

⑥ 各種保険証の現物を持参して下さい。

骨折などの事故がおきた場合、最寄りの救急病院に運び治療を受けることとなりますので、各クラブは病院に付き添う「救急担当者」を予め決めて下さい、

- ⑦ 契約している保険会社に問い合わせたところ
組手試合中の打撃の伴わない死亡事故・後遺障害・怪我等は保険が適用されません。

例1) 熱中症は保険金が支払われません。

例2) 心不全等の心臓の異常、過呼吸症候群等の呼吸系臓器の異常による死亡や後遺障害等は保険金が支払われません。

例3) 極度の緊張や思いこみが激しい性格等で自分を追い込んでしまう場合、打撃を伴わず転倒し、死亡事故・後遺障害・大怪我をすることも考えられます。この場合も保険金が支払われない可能性が高い。精神的に成長して参加して下さい。

- ⑧ 当該会場体育館・武道館では、「ゴミの持ち帰り運動」を実施しています。各支部は「試合会場美化責任者」を決め、弁当やペットボトルなどのゴミを持ち帰ることを義務づけます。また体育館・武道館内は禁煙です。

- ⑧ ロッカールームや試合観覧席などでの盗難には十分注意してください。武道館および大会主催者は一切責任を負いません。

【13】 J T A 試合法一自然災害・台風等に伴う 体育館・武道館の使用禁止の場合の処置

自然災害で体育館・武道館の中止勧告が出た場合、参加費は返金できないという内容。詳細はJ T A本部HPを参照して下さい。

【14】 J T A 四国 千本チルギ

大会終了後、千本チルギを行います。

第 1 1 回 四 国 テ コ ン ド ー 選 手 権 大 会 参 加 申 込 書
大会会長 河 明生殿

私は、下記の事項を誓約します。

- 一、貴大会の大会規約を遵守し、大会関係者の指導、勧告、注意などに従います。
 - 二、貴大会の試合ルールを遵守します。とくに、顔面強打は、絶対行いません。
 - 三、審判の判定に対する絶対性を尊重し、武道家として模範的行動をとることを誓います。
試合後、万一、判定を不服とした自己の行為が、審判に対する侮辱的行為であると大会主催者からみなされた場合、試合結果の無効、除名や試合出場停止処分などの処罰を受けても異議を申し立てません。
 - 四、私は、「テコンドーは、格闘技であり安全ではない」という事実を認識し、自らの意志により、本大会への参加を希望します。それゆえ、試合において如何なる事故が生じても自己の責任として処理し、本大会主催者ならびに貴大会関係者に対し、異義を申し立てないことを誓います。
 - 五、私は、自己の所属するクラブを通じて「スポーツ安全協会スポーツ安全保険」に加入しております。
 - 六、私は試合で万一、「事故当事者」となった場合、下記の保険内容での処理にあらかじめ同意します。
本大会主催者加入保険（三井海上保険代理店さくら保険 Ⅱ 0 4 2 - 3 6 8 - 0 7 4 4 と契約）
死亡 1 千万、後遺障害（失明など）1 千万、入院 1 日 6 千円、通院 1 日 4 千円
- 上記、誓約し、ここに大会申込書を参加費と添えて提出します。

年 月 日

参加者 住所

(ふりがな)
氏名

印

保護者 住所

氏名

印 * 1 8 歳未満、高校生以下必要

* 記入漏れがある場合、失格となります。

所属クラブ名

参加費振込証明添付

指導者サイン

現級・段 年齢 歳

身長 C m 体重 K g

* のり付けして下さい

過去（1年以内）の大会成績

1

2

出場種目（当日計量の際、申告体重を超えた場合は失格となります。）

組手&型の2種目出場者は、1枚の申請書で2ヶ所に○をしてください

- | | | | |
|------|-------------------|-------------|----------------|
| 一部組手 | ① 軽中量級 | ② 重量級 | ③ 女子差別級 |
| 二部組手 | ① 軽中量級 | ② 重量級 | ③ 女子差別級 |
| 三部組手 | ① 軽量級 | ② 中量級 | ③ 重量級 ④ 女子無差別級 |
| 四部組手 | ① 少年丙 ② 少女丙 | ③ 少年乙 ④ 少女乙 | ⑤ 少年甲 ⑥ 少女乙 |
| | ⑦ 中学生男子軽量級 | ⑧ 中学生男子中量級 | ⑨ 少女無差別級 |
| 蹴武型 | ① 一部 A 級 ② 一部 B 級 | ③ 一部 少年少女部 | ④ 二部 |
| | ③ 三部 小学生低学年以下 | ④ 三部 小学生高学年 | ⑤ 三部 中学生 |